

教科担任モデル校4年目の取り組み

仙台市立宮城野小学校

1. 4年目をスタートさせるにあたって

平成21年度の高学年部の職員の約7割が入れ替わったこともあり、教科担任制のねらいや具体的な内容を共通理解するための教科担任制部会を4月2日に実施した。そこで、これまでの成果と課題について確認し、今年度の体制や今後の部会の持ち方などの方向性を決めた。

平成20年度までの主な成果と課題

(1) 学力向上

- 基礎教科は担任がT1を務めることで、スキルや宿題・家庭学習、個別指導とも関連づけることで効果を上げることができた。
- 算数は担任がT1、教科担任がT2を務めることが学力向上・児童理解の面からも有効だった。
- 空き時間を少人数指導や個別指導にあてたことで、特に下位群の学力、学習に対する意欲が向上した。
- 基礎教科の教科担任制には反するが、学級担任が基礎教科をもつことで、自分の学級にいられる時間が増え、朝の慌ただしさも解消され、児童理解も深まった。
- 教師の専門性を生かすための時間割の組み方が難しい。教師の得意分野を生かせるのであれば、技能教科や外国語などの指導で効果が期待できる。

(2) 生徒指導

- ◎複数の教師が児童を理解することのメリットがある。
 - ・生徒指導の問題を担任ひとりが抱え込まないで協力して指導にあたることができる。
 - ・担任以外にも気軽に話ができる教師がいるということで、問題行動を未然に防ぐのにつながることもあった。
- 学級担任が、学級の子どもの理解、レポートづくりに時間がかかり、学級づくりで不安を残す。
- 早急な対応が必要な問題に臨機応変に対応することが難しい。

(3) 中学校への円滑な橋渡し

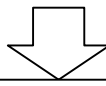
- 卒業生のアンケート結果からは、教科担任制を実施していない学校の卒業生と大きな変化はなかったが、中学校の教師のアンケートでは、「円滑であった」という結果がでた。

(4) 教師の意識改革

- 「学年担任」という意識をもち、時間割の変更や指導形態・方法の工夫、生徒指導等にチームで対応できれば、児童一人ひとりの能力や特徴を生かした、よりきめ細かい指導が期待できる。
- 教科担任制を経験した教師と、未経験の教師との間に意識のずれが生じる場合もあり、「全職員がいかに学年担任という意識をもつようにするか」が課題である。低・中学年部の担当教師の理解と協力が必要である。

(5) その他

- 時間割については、3コマ分の交換授業で可能な範囲にとどめたことで、昨年度までよりは運用しやすくなった。学級担任が不在の場合でも、自習ではなく授業を進めることができる。児童を知っている教科担任が指導にあたるので安全管理の面でもよい。
- ※時間割の調整や特別教室の使用割り当て、進度の確認など、コーディネーターの役割を果たす学年主任・教科担任担当者が必要である。
- ※保護者の教科担任制に対する期待は大きく、アンケートでも高い評価を得た。一方、学級担任とのかかわりの少なさに不安を感じている保護者もいる。教科担任制について十分な説明が必要となる。
- ※教科担任制にかかわる学級担任以外の教師の人数で、教科担任制の取り組み方も大きく変わってくる。



より取り組みやすい体制づくりを目指して検討したこと

- ① 学級担任が自分の学級に関わる時間をさらに増やす。→1時間目は原則自分の学級を担当。
- ② 国語，算数の指導に学級担任が関わり，スキルタイムや家庭学習・個別指導の時間と効果的に結びつける。
- ③ 時間割の組み方をもう少し単純にし，時間割の変更に柔軟に対応できるようにする。
- ④ 担任の空き時間を確保し，教材研究等にあてる。
- ⑤ 5．6年にまたがっての教科担任をできるだけ少なくする。

2. 平成21年度の体制

(1) 時間割を組む前に確認したこと

- ・ 1時間目はできるだけ学級担任の授業にあてる。
- ・ 交換授業を柱にした時間割にする。
- ・ 算数は教科担任と学級担任がペアを組んで指導できるようにする。
- ・ 学年合同での取り組みが多い体育は，学級担任が担当する。(6年生は+研究主任)

	国語	書写	社会	算数		理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	特活	総合	外国語
5-1 熊谷	担任	土屋 担任	藤原	土屋	担任	関谷	熊谷	土屋	熊谷	担任	担任	担任	担任	土屋
5-2 関谷	担任	土屋 担任			担任					担任	担任	担任		
5-3 藤原	担任	土屋 担任			担任					担任	担任	担任		
6-1 松本	担任	木村	木村	高橋	担任	鈴木	松本	担任	松本	担任	担任	担任	担任	土屋
6-2 高橋	担任				担任			担任		担任	担任			
6-3 鈴木	担任				担任			担任		担任	担任			

3時間分の交換授業と考えた基本形

- 6-1 理科 鈴木 (3組担任)
- 6-2 社会 木村 (研究主任)
- 6-3 音楽か家庭科 松本 (1組担任)

*高橋 (2組担任・算数教科担任) は
教材研究・学級事務など。

- 6-2 算数 高橋 (2組担任・教科担任)
- 木村 (研究主任)

*交換授業のローテーション以外の時間にとる。

*土屋担当の外国語活動は，年間30時間

- 6-1 算数 高橋 (教科担任)
- 松本 (1組担任)

- 6-2 理科 鈴木 (3組担任)

*2組の音楽・家庭は別のコマで。

- 6-3 社会 木村 (研究主任)

- 6-1 社会 木村 (研究主任)
- 6-2 音楽か家庭 松本 (1組担任)
- 6-3 算数 高橋 (教科担任)
- 鈴木 (3組担任)

*3組の理科は別のコマでとる。

- ◎ 交換授業の形を柱にするので，土屋が担当する外国語学習の時間と，木村の書写の時間は，学級担任は空き時間を使って教材研究をしたり，次時の授業の準備をしたりすることができる。
- ◎ 算数を少人数指導にしたことで，学級で早急に対応しなければならない事態になった場合，弾力的な対応が可能になった。

	熊谷	関谷	藤原	松本	高橋	鈴木	木村	土屋
持ち時数	25	25	25	25	23	26	19	24

- * 上記の原則と特別教室使用割り当ての計画を考え合わせ，研究主任が高学年の時間割の原案を組み，学級担任が最終調整をした。

3. 全職員・保護者の理解を得るために

- ① 教科担任制部会で担当者の意思統一と課題や児童に関する情報交換などの話し合いを行う。
- ② 職員会議で全職員に情報を提供し、共通理解を図る。
- ③ 4月の懇談会で高学年保護者に下記の資料を配付した。口頭で説明し、保護者から意見を聞いた。今後も学年だよりで随時学習の様子を知らせると共に、授業参観でも実際に教科担任の授業を参観してもらい、「教科担任制のメリット」を理解してもらおう。

4月懇談会資料

平成21年度

高学年教科担任制について

平成21年4月25日（土）

仙台市では、平成18年度より「教科担任制」モデル事業を実施しています。本校は、今年度モデル指定校4年目を迎え、これまでの成果と課題を生かし、学習指導・生徒指導でより成果を上げるために、時間割の組み方や指導体制などを工夫していきます。以下、今年度の高学年教科担任制について説明いたします。

1 教科担任制導入の理由

- (1) 得意な教科を持つ教師の指導力を生かし、教材研究を深めることにより「よりわかる授業」「より楽しい授業」にするため
- (2) 担任ひとりでは気づかなかった子どものよさや、指導すべき点を明らかにして、複数の教師で子どもたちを見守るため
- (3) 担当教科を絞り込み、教師の教材研究への時間を確保し、教材研究を深めるため
- (4) 6年生にとっては中学校の授業につながり、入学後の戸惑いを少なくするため

2 教科担任制の具体的な内容

- ・高学年担任6名の他に、研究主任、教科担任講師を加えた8名で教科指導を行う。
- ・基礎教科である算数は、担任だけでなく、教科担任を加えた3名で担当し、チームティーチングや少人数指導などよりきめ細かい指導を行うようにする。
- ・特別な配慮が必要な児童についても、空き時間の教師を中心に個別指導の時間を確保して、対応できるようにする。
- ・高学年教科担任部会を随時開き、子どもの様子についての意見交換を行い、生徒指導についても担任ばかりでなく、多くの教師により対応する。

3 今年度の担当教科担任一覧

学年等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	特活	総合
5-1(熊谷)	担任	土屋・担任	藤原	担任・土屋	関谷	熊谷	土屋	熊谷	担任	担任	担任	担任・土屋
5-2(関谷)	担任	土屋・担任	藤原	担任・土屋	関谷	熊谷	土屋	熊谷	担任	担任	担任	担任・土屋
5-3(藤原)	担任	土屋・担任	藤原	担任・土屋	関谷	熊谷	土屋	熊谷	担任	担任	担任	担任・土屋
6-1(松本)	担任	木村	木村	担任・高橋	鈴木	松本	担任	松本	担任・木村	担任	担任	担任・土屋
6-2(高橋)	担任	木村	木村	担任・木村	鈴木	松本	担任	松本	担任・木村	担任	担任	担任・土屋
6-3(鈴木)	担任	木村	木村	担任・高橋	鈴木	松本	担任	松本	担任・木村	担任	担任	担任・土屋

研究主任・6学年主任(木村) 教科担任講師(土屋)